

天子の純愛物語

— 総集編 —

R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

1話目

天子が

発情

して

一人で本



あーあ。
なんで私が


屋敷のお使いに
行かなくちゃ
いけないのかしら



追放された天界に帰って
来たのはいいけど、ますます
人当たりが悪くなっ
てうんざりだわ。

.....






まあいつか、

あの人に会えるし。



とある天界の果樹園。



おいしい。
いるかー？





天子。




いらっしやい。

久しぶりだね。



おう！


暇だったから
また来てやったぞ。



今度は何やってたの？
天界追放されちゃったって
聞いたけど。


ああ、そのことなら問題ない。
もうほとぼりも覚めてこうして
天界に戻って来れたからな。

でも、
私のしたことをまだ根に持つてる
奴がいてな。



しようがないから
そいつらのこと
コテンパンにして
ぶっ飛ばしてやった。
この手に限る。

相変わらず
めちやくちやだね。
あはは...



それじゃあ機嫌直しに
桃でも食べていく？
今朝いいのが取れたんだ。

おー！いいな！
食べる、食べる。

こいつは天界で果樹園を営んで
いる変わった天人だ。
ある時に出会って以来
よくここに訪れるようになった。



やっぱりお前の桃は、別格だなー。
甘くてとても美味しい♪

んー♪



あと、こんなにお土産を
もらって、本当にいいの？

うん
大丈夫だよ。気にしないで
持っていてきな。
屋敷の人にあげてもあげて



おはよう

しばらく来てなかったから
私に会えて嬉しいんだろー？
そんなはずかしがってー。



なんだ今日はえらく気前がいいな
何かあったのか？

言ってるじゃない。

……。
あっさては！

んー……。
少し言いくらいのこと
なんだけど……。



天子のことが
心配だったんだ。



あははっ

そうだね。
それもあるけど、



僕にできることは
これくらいしか
ないからさ。



だから少しでも天子の
元気付けになれたらいいなって思ってた。

天界追放なんてされて
落ち込んでいるんじゃないかって
心配だった。



そんなことはないぞ。

お前のそう言う
ところが私の元気の
源になっているんだ。

まあ……でも、




お前……






心配してくれて
ありがとな。

私はいつも通り大丈夫だから
安心してくれ。



そっか、そういって
もらえて嬉しいよ。

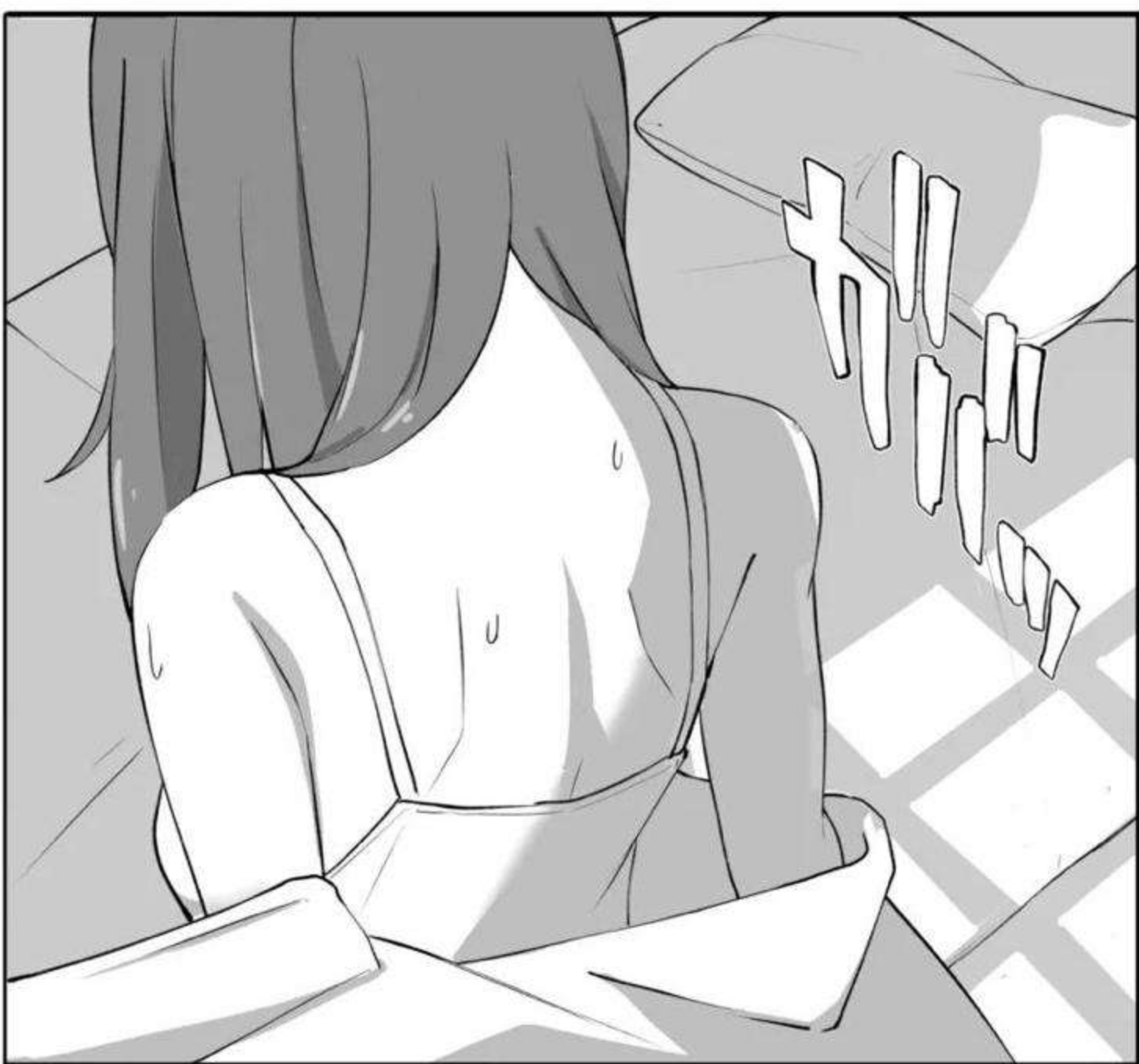
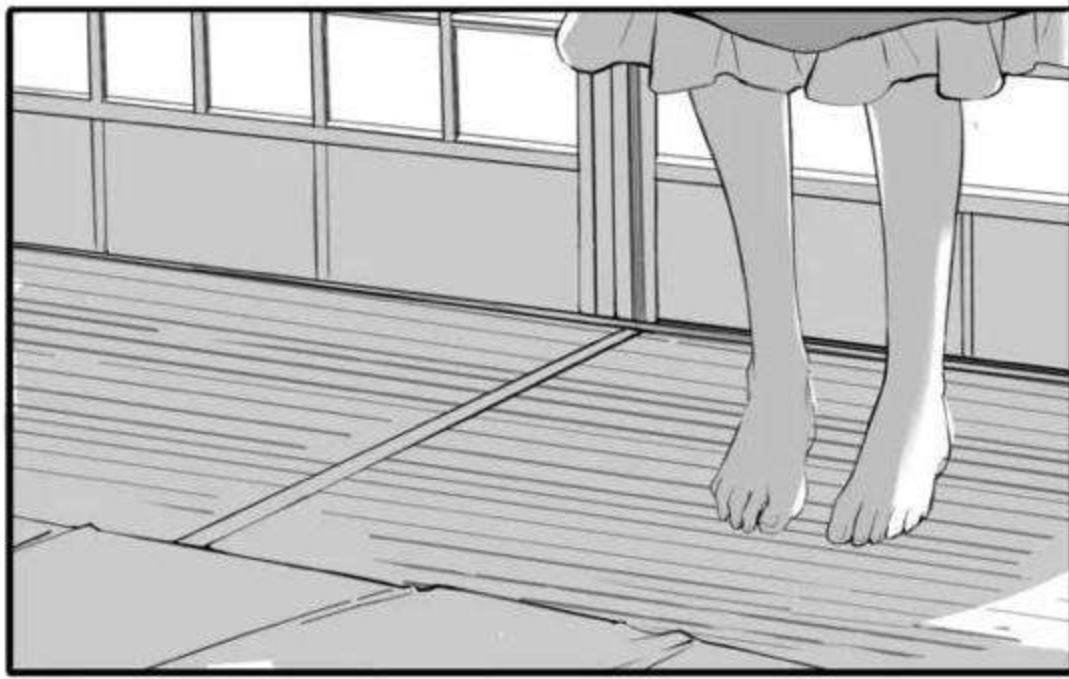
でもまた何かあったら
ここにおいで、僕でよかったら、
いつでも話聞くからさ。



全く、
お節介な奴だなあ。

お前は





あいつ、今日も優しかったなあ
すごいドキドキした……。

私の心配してくれて
たなあ、嬉しい……。

私は実を言うとあの人のことが
異性として好きである。
が、そのことを伝えられず、あの人
とずっと接している。

最近
彼に会うたびに、
好きという気持ち
抑えられなくなっ
てもうこのざまだ。

興奮して来た……。

どうしよう、抑えな
きや……
抑えなきや……。

そうして、興奮して、気持ちが収まらなくなると
火照った体を慰めるように、
私は自慰を度々するようになってしまった。

ガ
バ
ッ

と
〜
...



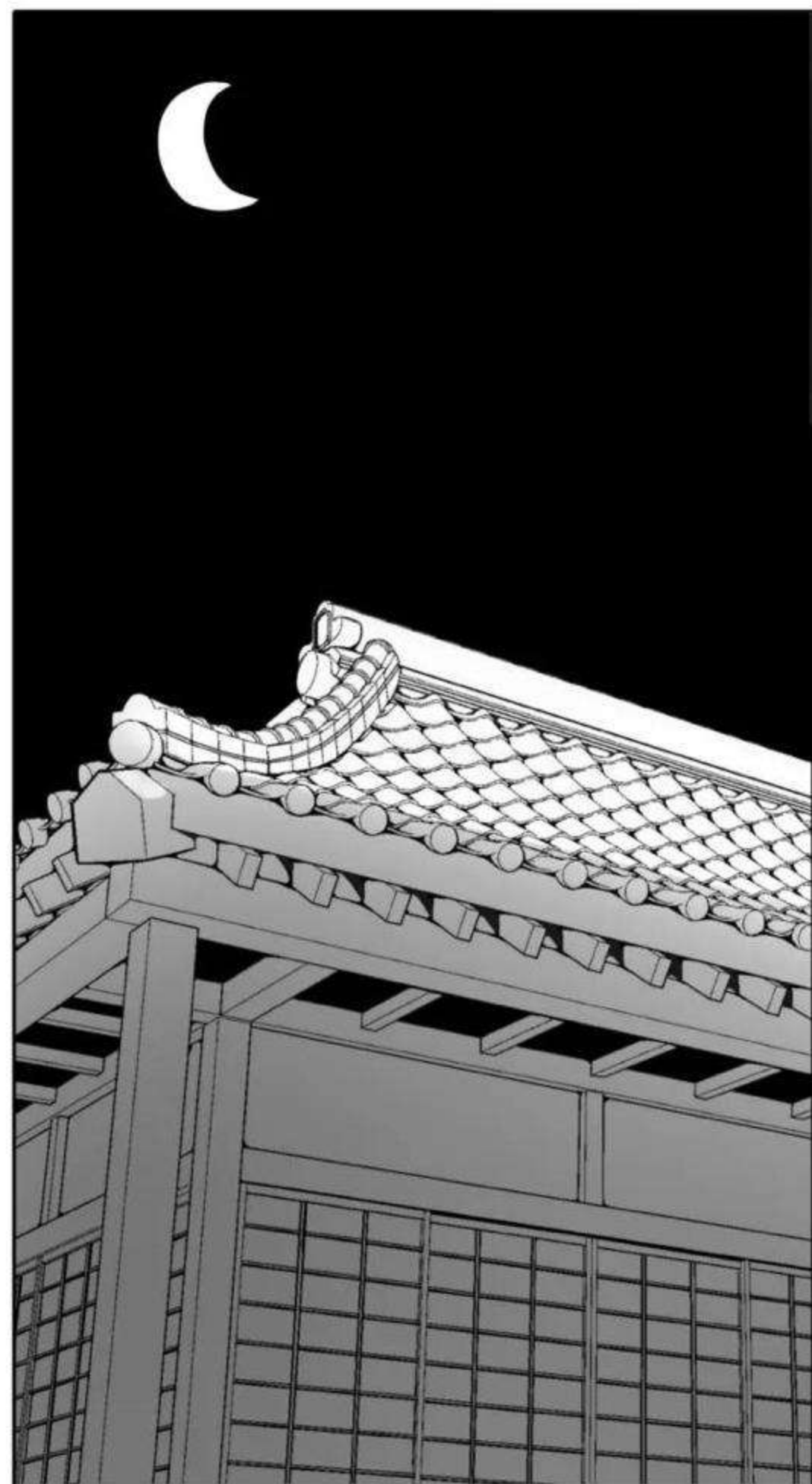




アッアッアッ♡♡♡

私はそれから
気がすむまで、
自分を慰め続けた。





過去の同人誌のあとがきに
掲載していたイラスト集です。





天子と

2話目
結ばれ
る
本

R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止



準備……



じゃあ……
脱ぐぞ……



できてるから……



いつでもきいて
いいぞ……

しつこいしちやうんだ



ああ、私、

！
+



そんなことはなくて、彼も
同じように私のことが好きだった。

上手〜い〜く〜か〜ドキドキしたけど、

あれから、私は彼に想いを伝えた。



もう……
したいの？

ええ!!

あはは



……わかった。

……別にいいぞ
……しても……。

そして今に至る。

すぐしたいとか
言って引いた？

？

そんなこと、
思っていないぞ。

…私も本当は
したかった

だから気にするな。

そっか…。

僕と一緒に
天子もエッチで
よかったよ。

うるせー。

あはは、
ごめんごめん

怖い？

はあ

はあ

…ちよつとだけ。

…痛かったら
言ってね。

…うん。

…じゃあ
挿れるよ。

…うん。



おっ!!

スト

ズ

00



ツッ!!

うぐ……ッ

うぐ……ッ

んっ♡
うっ♡

……

奥まで一気に
入ってきた……っ。



……大丈夫? 天子。

お前のごと……
もつと受け止めたいから
だから……っ

平……気……ッ

はあ

はあ

遠慮しないでこい……っ

天子……

最初にする時は痛いと思っていた。実際痛かったし、とてもつらいと感じた。

だけど次第に辛さはなくなり。

私は大好きな人とするセックスの気持ちよさに気づいた。

そうして私はすぐに
快楽に溺れていった。







なあ・・・お前がまだ・・・
したいんなら・・・

もう一回・・・
するか？

私達はそれから、
そんな事を言い合いながら
何度も身を重ね合わせた。

いいの？
そんなこと言われたら
僕止まらないよ？

ふふっ♡
いいぞ♡・・・好きな
だけこい♡





天子っ僕……
また……っ

あはっ♡……♡……♡
何度でも……っ私の中……♡
ん♡

あ♡
好きなだけ……ん♡
……だしてっ♡

天子……
大好きだよ。

私も……
大好き……♡
♡





たくさん
出たな...♡

あーあ

あーあ

また...
いっぱいしような♡

おわり

後日談





ドドキ
ドドキ

またこうして一緒に
いられることがとても
嬉しいぞ♡



お前と久しぶりに
会えて嬉しいぞ。

ん？

長いこと会えなくて
すまなかった、だって？
そんなこと気にするな♡



だが少しだけ、
お前がいない間は
寂しかったぞ？

ムス...



たくさん一緒に
楽しむぞ!!

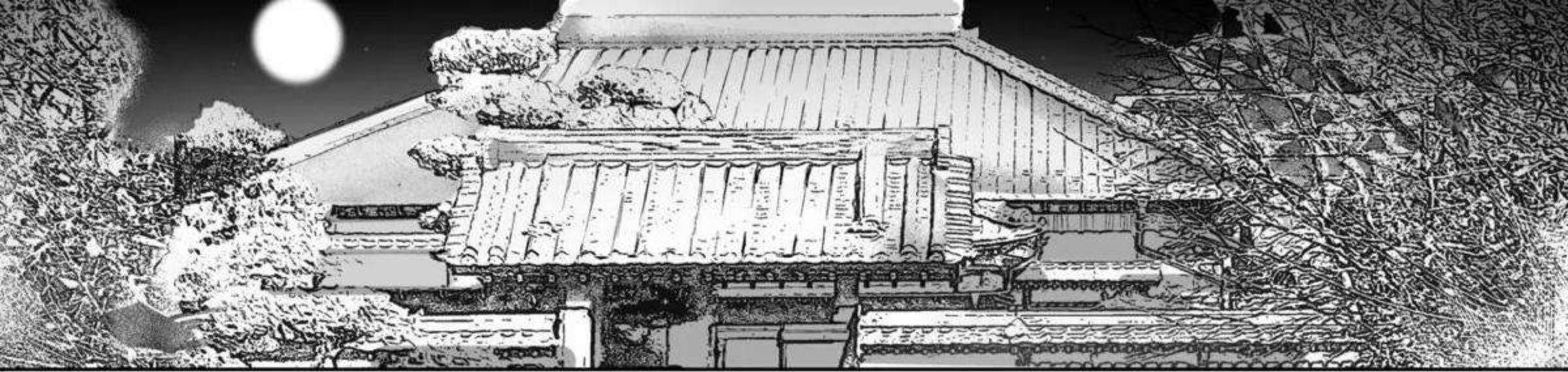


だから今日は、

ぎゅっ







いっぱい……
気持ちよくしてくれ♡



もうしたい
のか？

♡♡♡



♡♡♡



私もずっと
したかった♡

♡♡♡







ふふふ♡
お前と触れ合うのが
久しぶりで…

軽く、
イってしまった♡



次は私の番だな♡

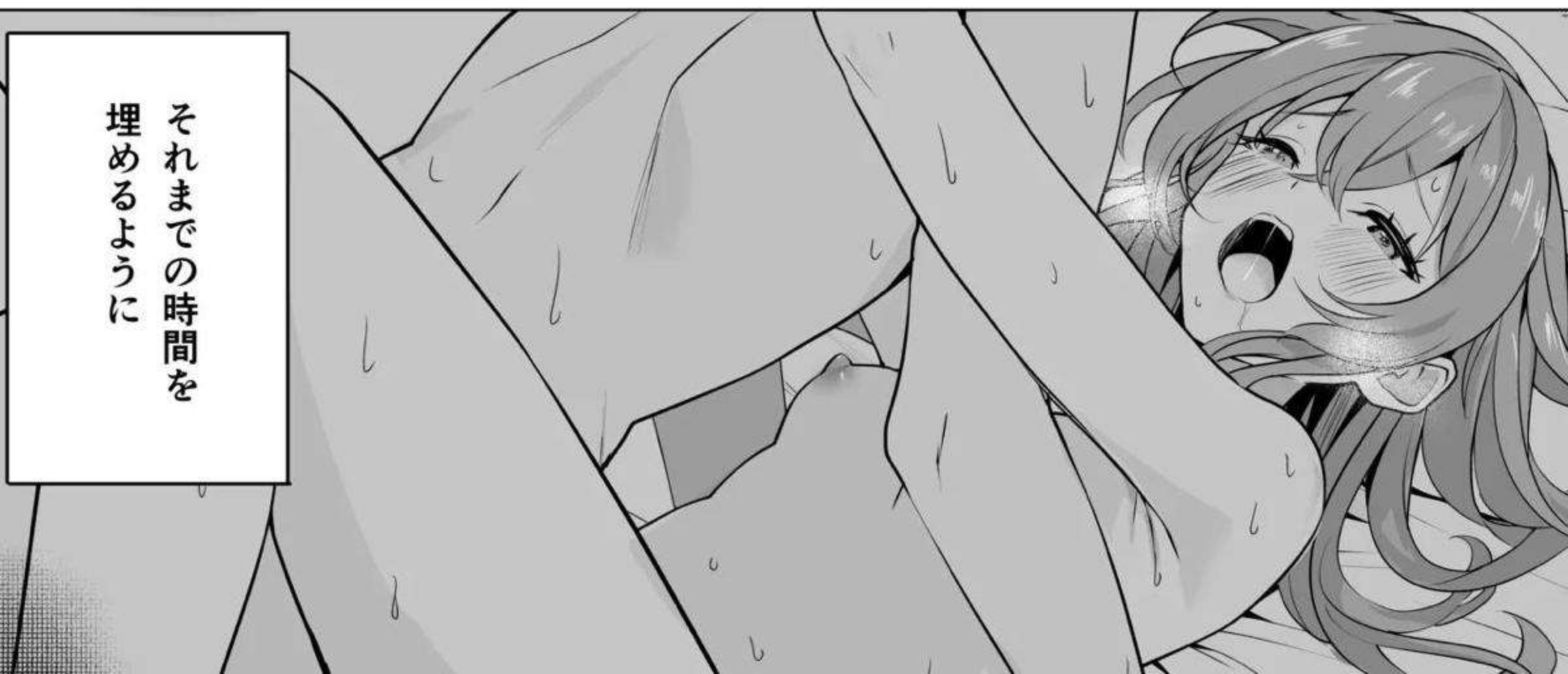




それから何度も
からだを重ねた



それまでの時間を
埋めるように







はあ……♡
大好きだ♡

ずっと……
ずっと一緒だぞ♡

完

「天子の純愛物語—総集編—」

発行月日 2026/05 04

原作 上海アリス幻楽団 様

印刷所 テイズプリント 様

発行者 冬野ふくろ

サークル名 冬のふくろう

X/Twitter @huyunohukuro

pixivID @huyunohukuro

本誌の無断転載、複写、アップロード、AI学習を
禁じます。

↓以下支援サイトです。よかったらご覧ください。

FANBOX →

<https://huyunohukuro.fanbox.cc>



fantia →

<https://fantia.jp/fanclubs/546114>





by 冬野ふくら